

## つむぎだより No.59

### =3月は去る? =

「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」と言いますが、本当にそうですね。

暦日が28日しかない上、令和になってからは天皇誕生日が2月に変わって祝日が2日になったこともあり、2月は本当に逃げきり状態といった感じで過ぎていきました。

とはいえ、バレンタインデーにはスタッフから手作りチョコレートの差し入れもあり、ほっこりした時間もありました。気候も少し緩んだかと思えば急に冷え込んだりと体調管理も大変でしたが、スタッフ全員、体調を崩すことなく、業務を続けてくれました。

月末には、スタッフの誕生日会も実施。事務所近くの有名な映えスイーツでお祝いをしました。お正月のお餅も残っているので、3月は、去る前に、2度目のぜんざいを炊こうと思っています！（川東）



★2025年3月号

## 1、従業員の不祥事発覚時の初動対応

### ◆初動対応の基本

従業員による不祥事が発覚した場合、企業がその対応を誤ると、社内外からの信用を大きく損ねてしまう可能性があります。被害を最小限とするために、基本的な対応策を押さえておきましょう。

### ①担当者を選任し、事実関係を把握

まずは事実関係を迅速に把握することが重要です。担当者を選任し、調査に当たります。関係者へのヒアリングや関連資料の確認を通じて、正確な情報を収集しましょう。その際、誰が、どのように調査を行うのかには慎重な判断が必要です。専門家に相談することも視野に入れておきましょう。社外からの問合せが想定される状況であれば、対応方針を決めておくのも重要です。

### ②情報開示とコミュニケーション

不祥事の実事が確認されたら、速やかに情報開示を行います。被害者、株主や取引先、従業員などに対して、誠実かつ透明性のあるコミュニケーションを図ることが信頼回復の第一歩です。確かな事実に基づき、冷静かつ真摯に対応しましょう。情報開示の範囲は事案により異なりますが、社会的影響や被害者保護、再発防止の観点から判断していきます。

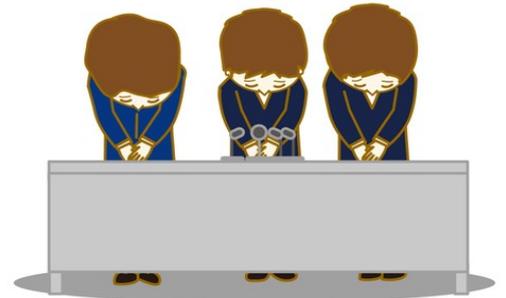
### ③被害者対応

不祥事によって被害を受けた方々への

対応も重要です。被害者の立場に立ち、誠意ある謝罪をして適切な補償を行い企業の責任を果たします。信頼を取り戻すためには迅速かつ誠実な対応が不可欠です。

### ◆再発防止に取り組む

初動対応のあとは、原因を徹底調査し、内部統制の強化や従業員教育など、再発防止に取り組むことが重要です。従業員の不祥事など考えたくないことかもしれませんが、万が一の際に速やかに対応するには、事前に準備しておくことが大切です。



### ★各種保険料率の変更★

★協会けんぽの健康保険料率、介護保険料率は令和7年3月分より変更となります。詳細は、協会けんぽからの案内をご参照下さい。

★健康保険組合については、各保険者からの情報をご確認下さい。

★雇用保険料雇用保険料は4月分から引き下げです。

会社負担分:(0.95% → 0.90%)

本人負担分:(0.6% → 0.55%)

給与計算の際には、ご注意ください。

## ＝季節のコラム＝

3月3日は「耳の日」。

突然ですが、頭の中で同じメロディーが流れ続けることってありませんか。

曲や歌の一部が頭から離れず、まるで耳の中に音楽の虫がこびりついたように感じる現象は「イヤークワーム」と呼ばれ、9割以上の人が経験するそうです。

音楽や歌を聴くとき、「聴覚野」という脳領域の一部が活性化されますが、馴染みのある曲の一部だけを聴くと、この聴覚野が自然に残りのパートを埋めようとし、続きを聞きたいと切望するため、脳が同じメロディーの反復を繰り返すのだとか。

「イヤークワーム」はしゃっくりのように一時的なものなので、その間は楽しく付き合ってみるのも良いかもしれませんね。(鹿島)



### 社会保険労務士法人つむぎ

〒540-0012

大阪市中央区谷町2丁目1番22号

フェアステージ大手前ビル7階

電話: 06-4397-3358

FAX: 06-4397-3359

Email: info@sr-tsumugi.or.jp

営業時間

平日 9:00～18:00

HP: <https://sr-tsumugi.or.jp/>

## 2、20代・30代に聞いた「入社後ギャップ」

エン・ジャパン株式会社が運営する、若手ハイキャリア向けスカウト転職サイト『AMBI』で、39歳以下のユーザーを対象に「入社後ギャップ」についてアンケート調査を実施した結果概要をご紹介します。

### ◆回答者929名の約9割が「経験あり」

「入社後にギャップを感じた経験はありますか？」との問いに対し、87%が「ある」と回答しました。想定より良かったギャップ、悪かったギャップともに、「職場の雰囲気」と「仕事内容」の2つが上位に並びました。

—想定より良かった

1位. 「職場の雰囲気」(40%)

2位. 「仕事内容」(31%)

—想定より悪かった

1位. 「仕事内容」(39%)

2位. 「職場の雰囲気」(38%)

想定より悪かったギャップのうち、男女で差が大きかった回答は以下の4つでした。

1位. 「仕事量」(女性が10%多い)

2位. 「勤務時間・休日休暇」

(女性が9%多い)

3位. 「仕事内容」「会社の事業方針」

(男性が5%多い)

### ◆転職を考える原因になったギャップ

入社後にギャップを感じたことがあると答えた方のうち約7割が「転職したことがある」または「転職はしていないが、転職活動をしたことはある」と回答しました。また、「転職を考える一番の原因になったギャップポイント」への上位回答は以下の2つでした。

1位. 「職場の雰囲気」「仕事内容」

2位. 「給与」

入社後のギャップをできるだけ小さくするには丁寧な採用活動が求められます。

【エン・ジャパン「20代・30代のビジネスパーソン900人に聞いた「入社後ギャップ」調査—『AMBI』ユーザーアンケート】  
<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2025/38619.html>



## 3、今月のおすすめ本

今回は、「運命をひらく生き方ノート」(著者:大田 嘉仁 出版:致知出版社)をご紹介します。大田さんは、皆様ご存知、稲盛さんとともにJALの再建を成し遂げた立役者でもあります。p

副題に「約三十年、稲盛和夫氏のもとで学んだこと」とある通り、稲盛さんから受けた刺激や自らの気づきなど、ご自身で書き留めたノートを読み返しつつ、この本を書き上げられたそうです。

内容は、生き方や考え方から始まり、リーダーとしてのあるべき姿、経営者として大切なこと、最後に人としての心構えや気持ちの持ち方などが書かれていました。

印象に残った言葉もいくつか出てきますが、読んでいるその時の自分自身の状況によって、響く言葉が違いますので、何度読み返しても、勉強になる一冊です。

悩んだとき、落ち込んだとき、これから奮起しようと思ったときなどに読んでみてはいかがでしょうか。(川東)

